

令和5年度 健診検査値からみた加入者（40-74歳）の健康状態に関する調査

令和7年8月
健康保険組合連合会
政策部 調査分析グループ

調査の概要

本調査は、令和5年度の特健健診受診者 358万8,069人（450組合）における特定健診データをもとに、健診検査値の判定基準に基づく該当者の分布状況や保健指導対象者の階層化状況から、特定健診受診者（40-74歳）の健康状態を考察したものです。

なお、本調査で用いた各健診検査項目の判定基準は以下の通りです。

腹囲判定基準値

非肥満	下記（1）～（3）のいずれにも該当しない場合
肥満	（1）内臓脂肪面積 $\geq 100\text{cm}^2$ または内臓脂肪面積 $< 100\text{cm}^2$ でBMI $\geq 25\text{kg}/\text{m}^2$ ※内臓脂肪面積の検査値がないとき （2）腹囲 【男性】 $\geq 85\text{cm}$ 、【女性】 $\geq 90\text{cm}$ （3）腹囲 【男性】 $< 85\text{cm}$ 、【女性】 $< 90\text{cm}$ でBMI $\geq 25\text{kg}/\text{m}^2$

健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値

	検査項目	保健指導判定値	受診勧奨判定値
血圧	収縮期	130mmHg 以上	140mmHg 以上
	拡張期	85mmHg 以上	90mmHg 以上
脂質	中性脂肪	150mg/dL 以上	300mg/dL 以上
	HDL コレステロール	39mg/dL 未満	34mg/dL 未満
	LDL コレステロール（又は Non-HDL）	120mg/dL 以上 (150mg/dL 以上)	140mg/dL 以上 (170mg/dL 以上)
血糖	空腹時血糖	100mg/dL 以上	126mg/dL 以上
	HbA1c	5.6%以上	6.5%以上
	随時血糖	100mg/dL 以上	126mg/dL 以上
肝機能	AST (GOT)	31U/L 以上	51U/L 以上
	ALT (GPT)	31U/L 以上	51U/L 以上
	γ -GT (γ -GTP)	51U/L 以上	101U/L 以上
腎機能	eGFR	60ml/分/1.73 m ² 未満	45ml/分/1.73 m ² 未満

厚生労働省『標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】』「第2編：健診 別紙5」p.52を基に作成。

健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値（詳細区分）

区分	基準範囲内	保健指導判定値	受診勧奨判定値
血圧 (mmHg)	収縮期<130 かつ 拡張期<85	収縮期 \geq 130 又は 拡張期 \geq 85	収縮期 \geq 160 又は 拡張期 \geq 100
			収縮期 \geq 140 又は 拡張期 \geq 90
脂質 (mg/dL)	LDL<120 (Non-HDLを測定した場合、Non-HDL<150) かつ 中性脂肪<150 かつ HDL \geq 40	120 \leq LDL<140 (Non-HDLを測定した場合、150 \leq Non-HDL<170) 又は 150 \leq 中性脂肪<300 又は HDL<40	LDL \geq 180 (Non-HDLを測定した場合、Non-HDL \geq 210) 又は 中性脂肪 \geq 500
			140 \leq LDL<180 (Non-HDLを測定した場合、170 \leq Non-HDL<210) 又は 300 \leq 中性脂肪<500
血糖 (mg/dL)	空腹時血糖<100 <u>空腹時血糖がないとき</u> HbA1c<5.6% <u>HbA1cがないとき</u> 随時血糖<100	空腹時血糖 \geq 110 <u>空腹時血糖がないとき</u> HbA1c \geq 6.0% <u>HbA1cがないとき</u> 随時血糖 \geq 110	空腹時血糖 \geq 126 <u>空腹時血糖がないとき</u> HbA1c \geq 6.5% <u>HbA1cがないとき</u> 随時血糖 \geq 126
		空腹時血糖 \geq 100 <u>空腹時血糖がないとき</u> HbA1c \geq 5.6% <u>HbA1cがないとき</u> 随時血糖 \geq 100	
肝機能 (U/L)	AST<31 かつ ALT<31 かつ γ -GT<51	AST \geq 31 又は ALT \geq 31 又は γ -GT \geq 51	AST \geq 51 又は ALT \geq 51 又は γ -GT \geq 101
腎機能 (ml/min/1.73 m ²)	eGFR \geq 60 かつ 尿蛋白 (-)	eGFR \geq 45 かつ 尿蛋白 (±)	eGFR<45 又は 尿蛋白 (1+) 以上
		45 \leq eGFR <60 かつ 尿蛋白 (-)	

厚生労働省『標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】』第2編：健診 別添資料「健診結果とその他必要な情報の提供（フィードバック文例集）」を基に作成。

健診レベル判定分布（「健康分布図」）の健診検査項目判定基準

（＝保健指導対象者の選定に必要な健診検査項目と判定基準）

	検査項目	保健指導判定値以上（リスクあり）
血圧	収縮期	130mmHg 以上
	拡張期	85mmHg 以上
脂質	中性脂肪	150mg/dL 以上
	HDL コレステロール	40mg/dL 未満
血糖	空腹時血糖	100mg/dL 以上
	HbA1c（空腹時血糖がない場合）	5.6%以上
	随時血糖（HbA1c がない場合）	100mg/dL 以上

目次

1. 腹囲判定に基づく「非肥満」・「肥満」の割合	5
2. 健診検査項目別にみた判定値区分別該当者割合	7
(1) 血圧	7
(2) 脂質	9
(3) 血糖	11
(4) 肝機能	13
(5) 腎機能	15
3. 腹囲判定別にみた健診検査値リスク保有者の構成割合	17
4. 腹囲判定別にみた健診検査項目リスク数構成割合	18
5. 腹囲判定別にみた検査項目別「保健指導判定値以上」該当者のリスク保有構成割合	21
(1) 血圧	21
(2) 脂質	23
(3) 血糖	25
6. 保健指導対象者の選定・階層化に基づく健診レベル判定分布	27
【参考資料】	29

1. 腹囲判定に基づく「非肥満」・「肥満」の割合

- 健診受診者 358万 3,898 人の腹囲判定別（非肥満・肥満）の該当者割合をみると、「非肥満」が 60.2%、「肥満」が 39.8%となっており、4 割近くが「肥満」の該当者となっている。
- 年齢階層別にみると、「肥満」該当者の割合は、どの年齢階層においても 3~4 割を占め、年齢階層が上がるにつれて高くなる傾向にある。
- 被保険者・被扶養者別にみると (p.6)、「肥満」該当者の割合は、被保険者：43.1%、被扶養者：19.5%と、被保険者の割合が圧倒的に高く、どの年齢階層別においても概ね 4 割を占めている。一方、被扶養者は、年齢階層が上がるにつれて高くなり、70 歳以上：26.5%が最も高くなっている。

図1 腹囲判定別該当者割合

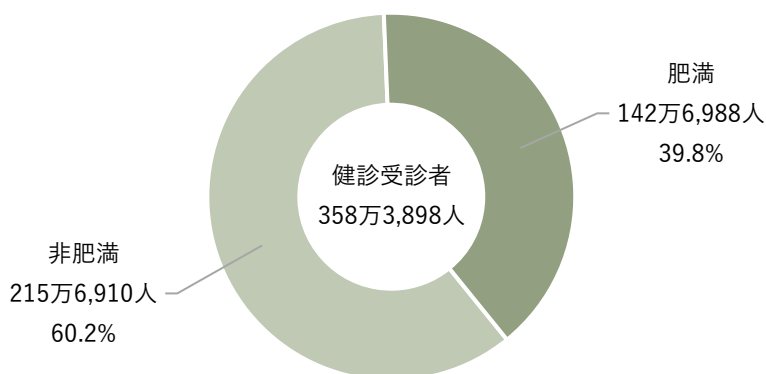


図2 年齢階層別 腹囲判定別該当者割合

健診受診者数：358万3,898人

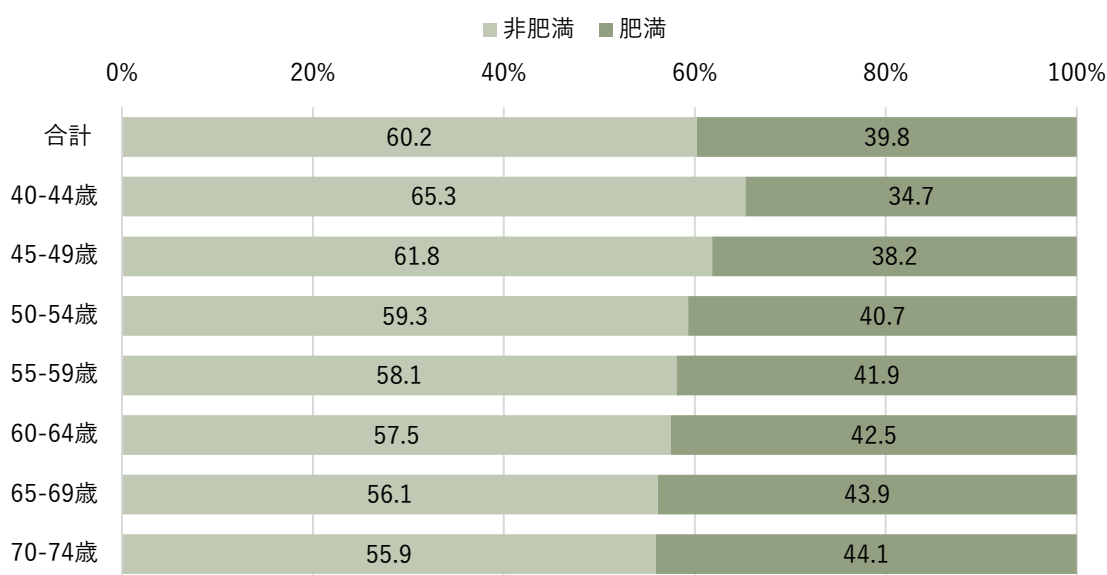


図3 年齢階層別 腹囲判定別該当者割合

【被保険者】

健診受診者数：308万8,449人

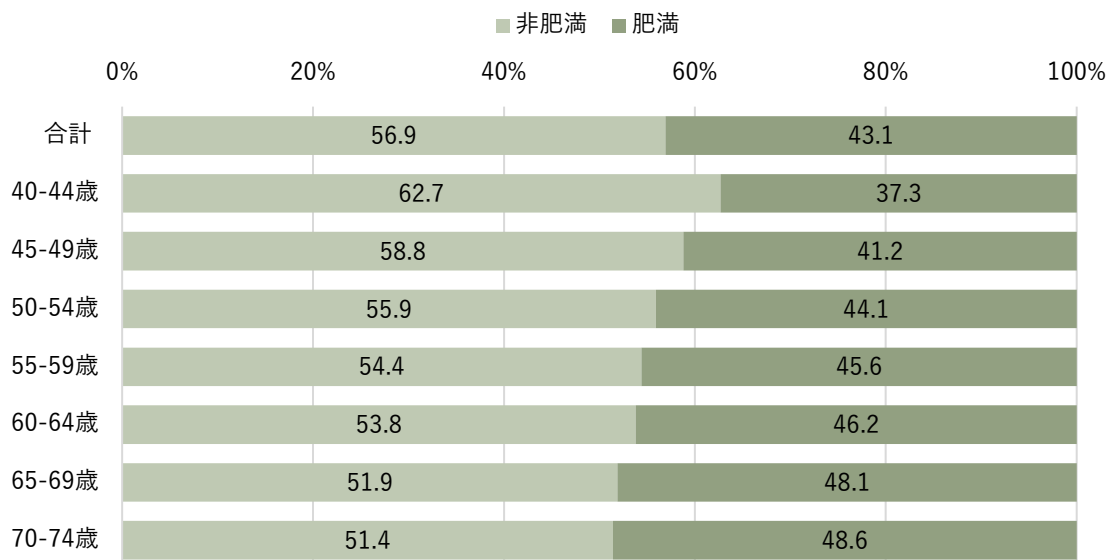
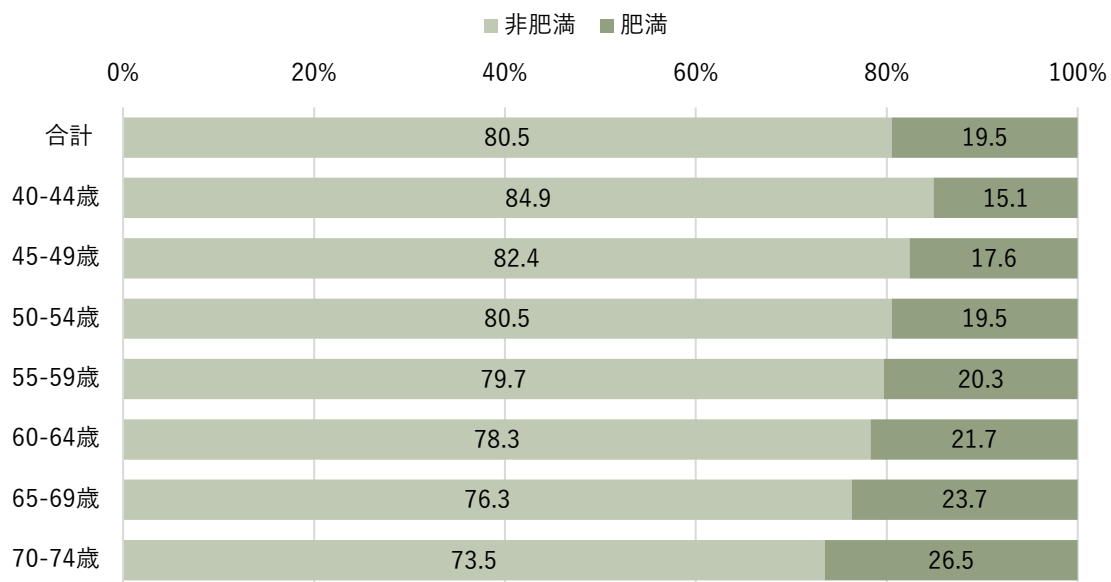


図4 年齢階層別 腹囲判定別該当者割合

【被扶養者】

健診受診者数：49万5,449人



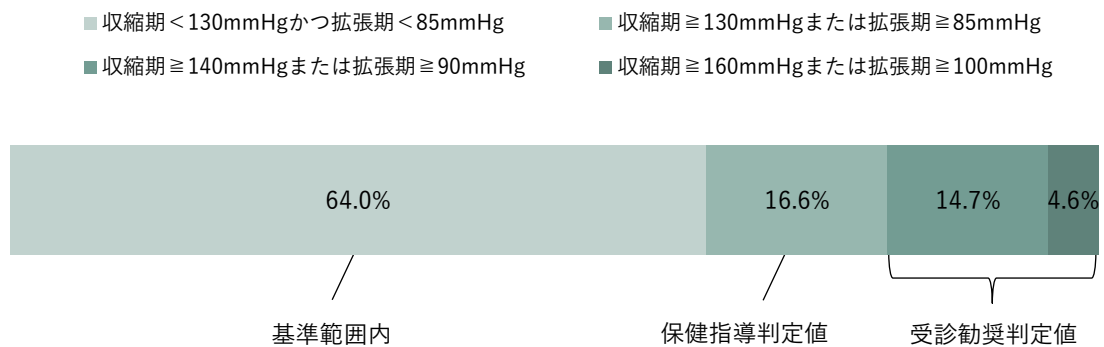
2. 健診検査項目別にみた判定値区分¹別該当者割合

(1) 血圧

- 「血圧」について健診判定値区分別に該当者²の割合をみると、「基準範囲内」：64.0%、「保健指導判定値」：16.6%、「受診勧奨判定値」：19.4%（14.7%+4.6%）となっており、36.0%が保健指導判定値以上の該当者となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると（p.8）、「基準範囲内」は被保険者が62.7%、被扶養者が72.2%となっており、被保険者のほうが「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」の割合が高い。また、両者とも年齢階層が上がるにつれて「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」の割合が高くなる傾向にある。

図5 「血圧」判定値区分別該当者割合

【合計】



	血圧	人数／割合
基準範囲内	収縮期 < 130mmHg かつ拡張期 < 85mmHg	2,294,122 人 64.0%
	収縮期 ≥ 130 mmHg または拡張期 ≥ 85mmHg	596,521 人 16.6%
受診勧奨判定値	収縮期 ≥ 140 mmHg または拡張期 ≥ 90mmHg	527,929 人 14.7%
	収縮期 ≥ 160mmHg または拡張期 ≥ 100mmHg	166,463 人 4.6%

¹ 健診判定値区分は、厚生労働省『標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】』第2編：健診別添資料「健診結果とその他必要な情報の提供（フィードバック文例集）」に依拠。

（※端数処理の関係上、割合の合計が必ずしも100%にならない場合がある。以下、同じ）。

² 該当者は、未測定者3,034人を除く計358万5,035人である。

図6 「血压」判定値区分別該当者割合

【被保険者】

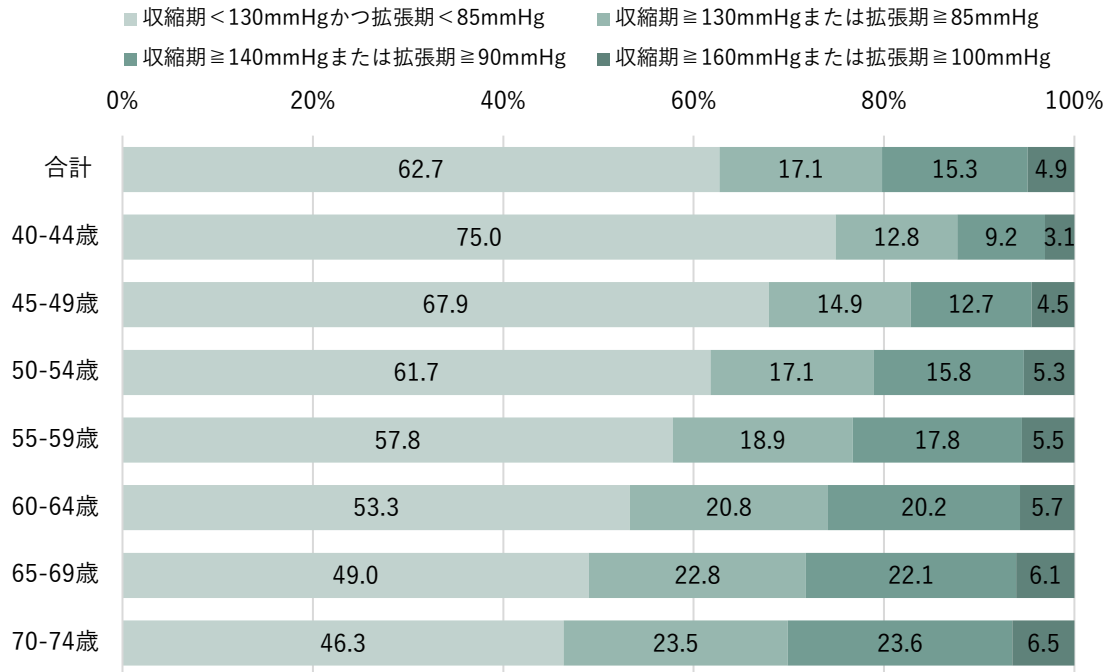
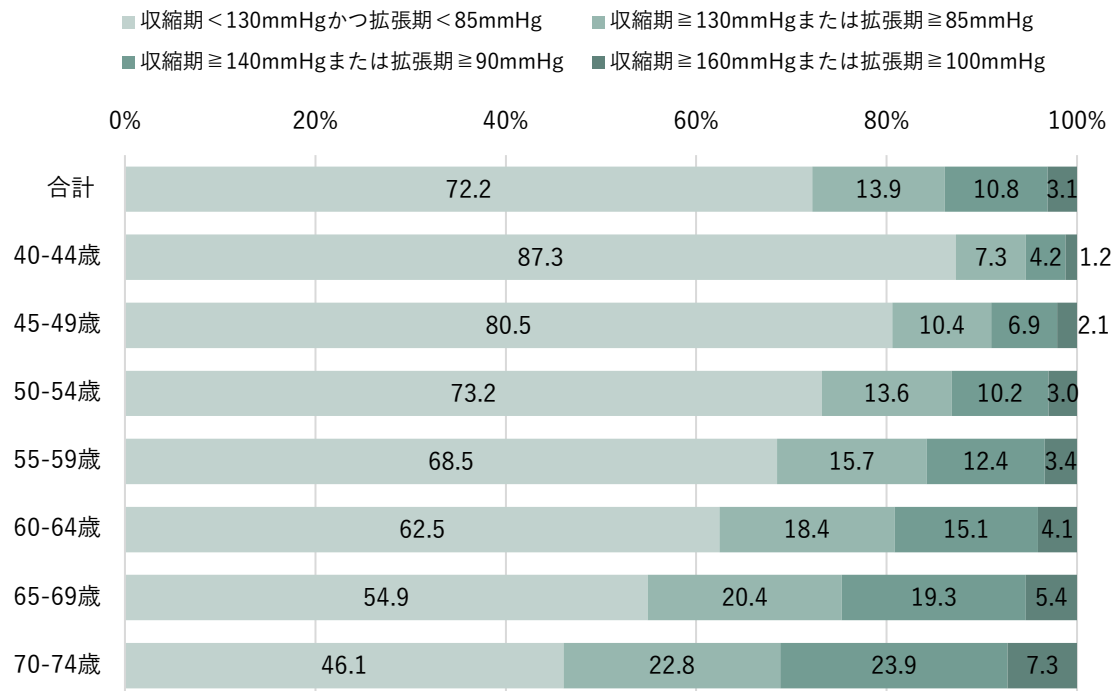


図7 「血压」判定値区分別該当者割合

【被扶養者】



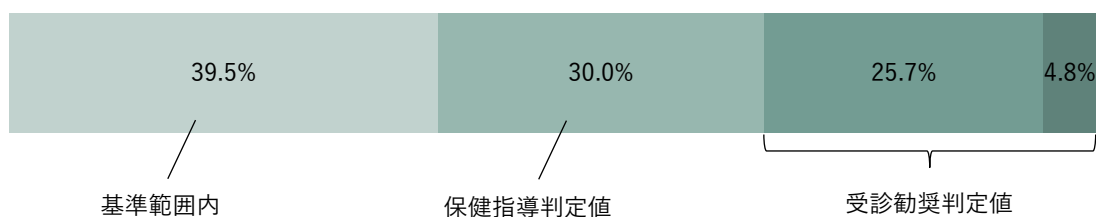
(2) 脂質

- 「脂質」について健診判定区分別に該当者³の割合をみると、「基準範囲内」:39.5%、「保健指導判定値」:30.0%、「受診勧奨判定値」:30.5% (25.7%+4.8%) となっており、60.5%が保健指導判定値以上の該当者となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると (p.10)、「基準範囲内」は被保険者が 38.8%、被扶養者が 43.5%となっており、被保険者のほうが「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」の割合が高い。また、年齢階層別にみると、55歳以降では被扶養者のほうが「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」の割合が高くなる傾向にある。

図8 「脂質」判定値区分別該当者割合

【合計】

- LDL < 120mg/dL (または Non-HDL < 150mg/dL) かつ中性脂肪 < 150mg/dL かつ HDL ≥ 40mg/dL
- LDL ≥ 120mg/dL (または Non-HDL ≥ 150mg/dL) または中性脂肪 ≥ 150mg/dL または HDL < 40mg/dL
- LDL ≥ 140mg/dL (または Non-HDL ≥ 170mg/dL) または中性脂肪 ≥ 300mg/dL
- LDL ≥ 180mg/dL (または Non-HDL ≥ 210mg/dL) または中性脂肪 ≥ 500mg/dL



	脂質	人数/割合
基準範囲内	LDL < 120mg/dL (または Non-HDL < 150mg/dL) かつ中性脂肪 < 150mg/dL かつ HDL ≥ 40mg/dL	1,414,021 人
		39.5%
保健指導判定値	LDL ≥ 120mg/dL (または Non-HDL ≥ 150mg/dL) または中性脂肪 ≥ 150mg/dL または HDL < 40mg/dL	1,075,261 人
		30.0%
受診勧奨判定値	LDL ≥ 140mg/dL (または Non-HDL ≥ 170mg/dL) または中性脂肪 ≥ 300mg/dL	922,379 人
		25.7%
	LDL ≥ 180mg/dL (または Non-HDL ≥ 210mg/dL) または中性脂肪 ≥ 500mg/dL	172,540 人
		4.8%

³ 該当者は、未測定者 3,868 人を除く計 358 万 4,201 人である。

図9 「脂質」判定値区別該当者割合

【被保険者】

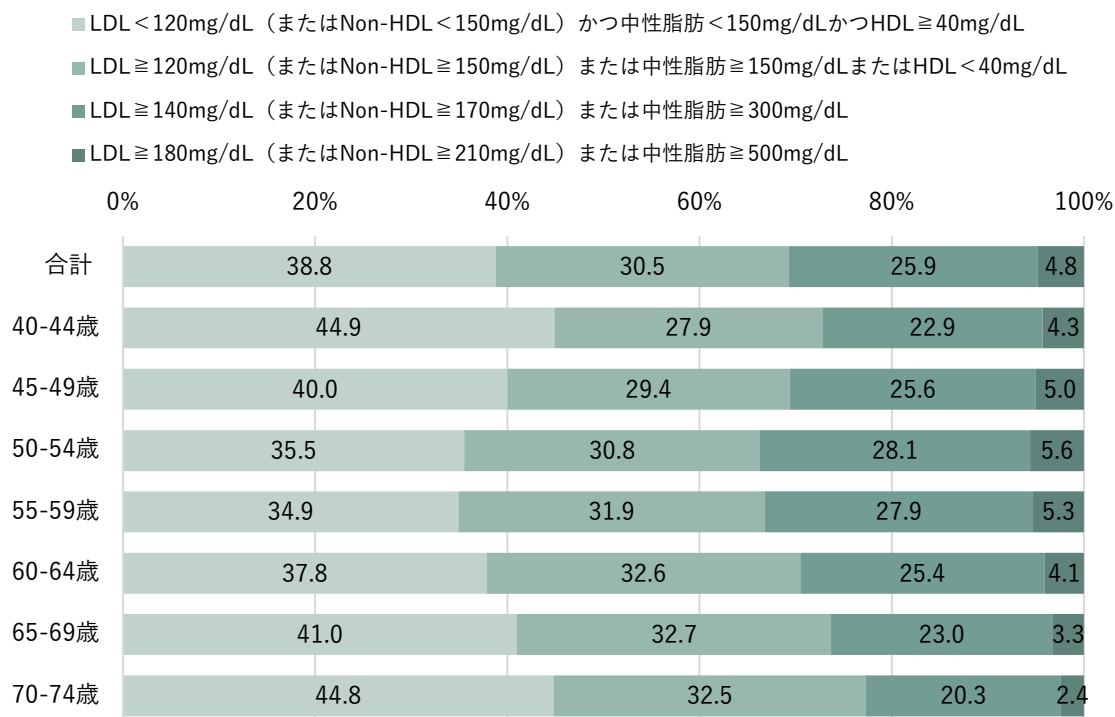
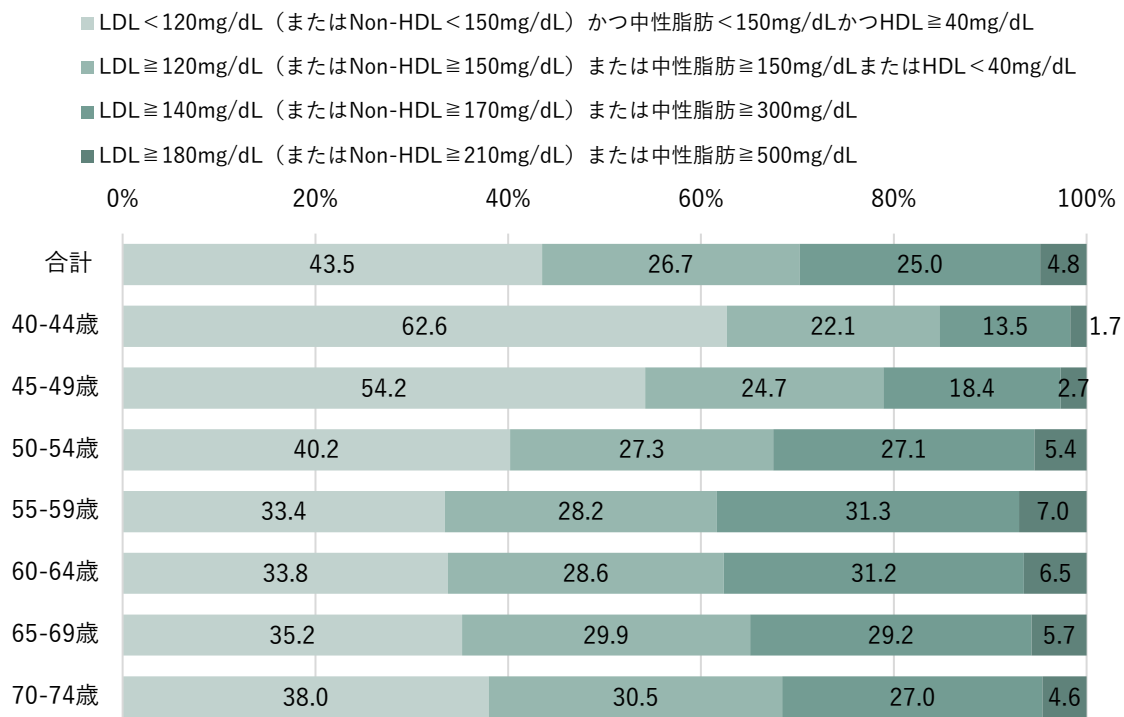


図10 「脂質」判定値区別該当者割合

【被扶養者】



(3) 血糖

- 「血糖」について健診判定区分別に該当者⁴の割合をみると、「基準範囲内」:66.2%、「保健指導判定値」:28.4% (20.2%+8.2%)、「受診勧奨判定値」:5.4%となっており、33.8%が保健指導判定値以上の該当者となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると (p.12)、「基準範囲内」は被保険者が 64.3%、被扶養者が 78.4%となっており、被保険者のほうが「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」の割合が高い。また、両者とも年齢階層が上がるにつれて「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」の割合が高くなる傾向にある。

図11 「血糖」判定値区分別該当者割合
【合計】

- 空腹時血糖 < 100mg/dL、(空腹時血糖値がない時) HbA1c < 5.6%、(HbA1cがない時) 随時血糖 < 100mg/dL
- 空腹時血糖 ≥ 100mg/dL、(〃) HbA1c ≥ 5.6%、(〃) 随時血糖 ≥ 100mg/dL
- 空腹時血糖 ≥ 110mg/dL、(〃) HbA1c ≥ 6.0%、(〃) 随時血糖 ≥ 110mg/dL
- 空腹時血糖 ≥ 126mg/dL、(〃) HbA1c ≥ 6.5%、(〃) 随時血糖 ≥ 126mg/dL



	血糖	人数/割合
基準範囲内	空腹時血糖 < 100mg/dL、 (空腹時血糖値がない時) HbA1c < 5.6%、 (HbA1cがない時) 随時血糖 < 100mg/dL	2,369,880 人 66.2%
	空腹時血糖 ≥ 100mg/dL、(〃) HbA1c ≥ 5.6%、 (〃) 随時血糖 ≥ 100mg/dL	721,527 人 20.2%
保健指導判定値	空腹時血糖 ≥ 110mg/dL、(〃) HbA1c ≥ 6.0%、 (〃) 随時血糖 ≥ 110mg/dL	293,755 人 8.2%
	空腹時血糖 ≥ 126mg/dL、(〃) HbA1c ≥ 6.5%、 (〃) 随時血糖 ≥ 126mg/dL	193,759 人 5.4%

⁴ 該当者は、未測定者 9,148 人を除く計 357 万 8,921 人である。

図12 「血糖」判定値区分別該当者割合

【被保険者】

- 空腹時血糖 < 100mg/dL、(空腹時血糖値がない時) HbA1c < 5.6%、(HbA1cがない時) 随時血糖 < 100mg/dL
- 空腹時血糖 ≥ 100mg/dL、(〃) HbA1c ≥ 5.6%、(〃) 随時血糖 ≥ 100mg/dL
- 空腹時血糖 ≥ 110mg/dL、(〃) HbA1c ≥ 6.0%、(〃) 随時血糖 ≥ 110mg/dL
- 空腹時血糖 ≥ 126mg/dL、(〃) HbA1c ≥ 6.5%、(〃) 随時血糖 ≥ 126mg/dL

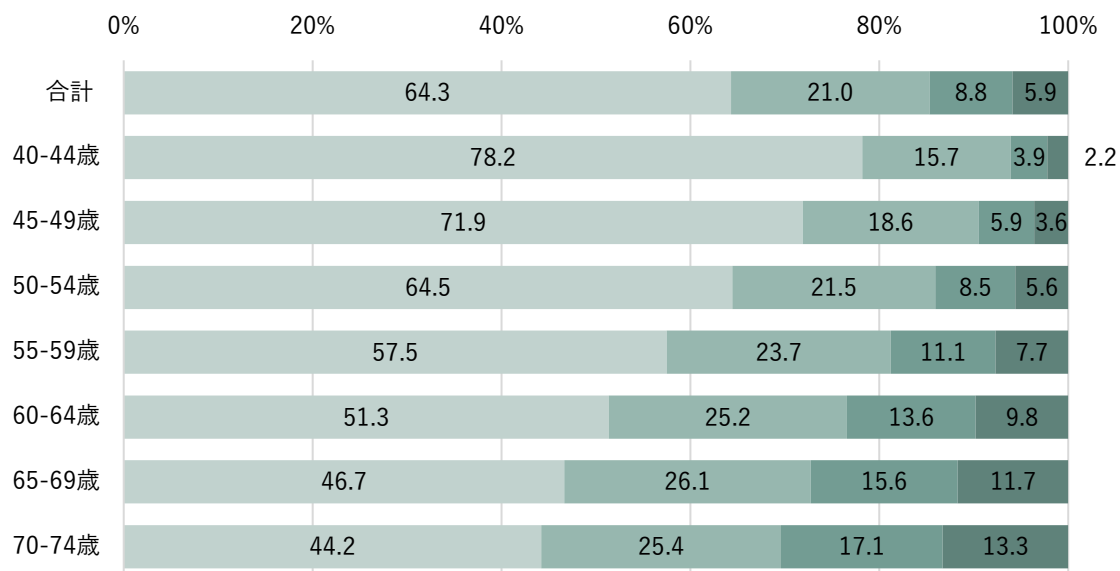
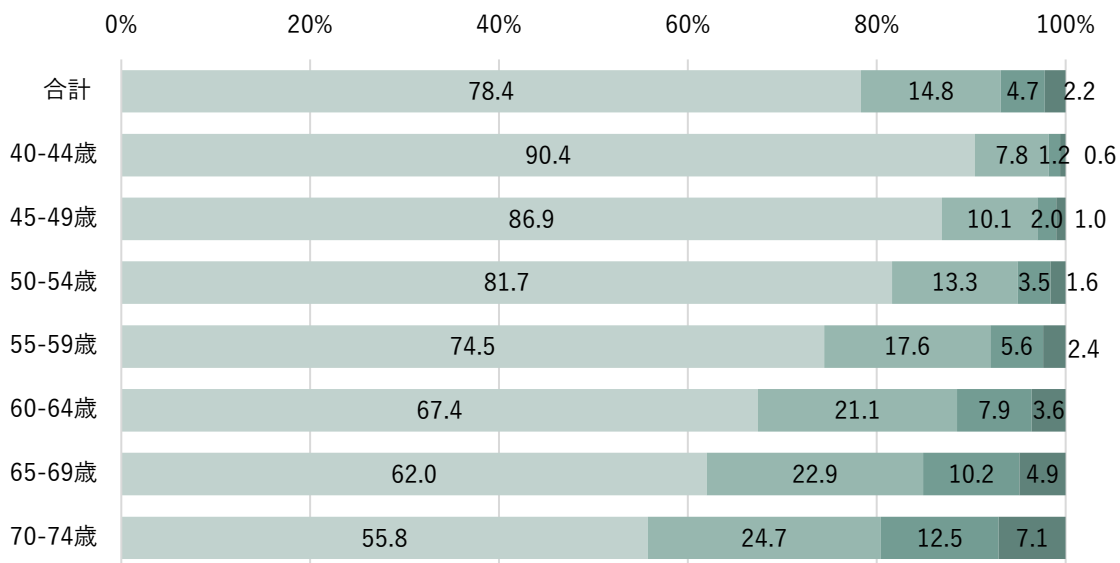


図13 「血糖」判定値区分別該当者割合

【被扶養者】

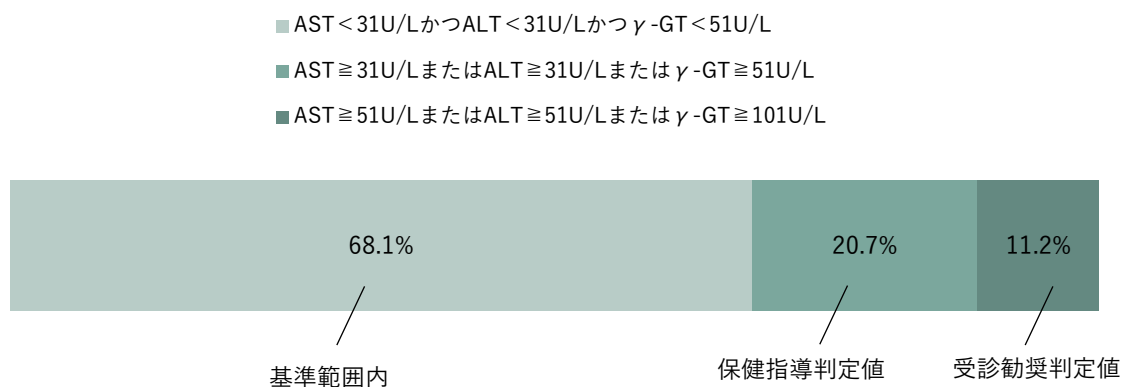
- 空腹時血糖 < 100mg/dL、(空腹時血糖値がない時) HbA1c < 5.6%、(HbA1cがない時) 随時血糖 < 100mg/dL
- 空腹時血糖 ≥ 100mg/dL、(〃) HbA1c ≥ 5.6%、(〃) 随時血糖 ≥ 100mg/dL
- 空腹時血糖 ≥ 110mg/dL、(〃) HbA1c ≥ 6.0%、(〃) 随時血糖 ≥ 110mg/dL
- 空腹時血糖 ≥ 126mg/dL、(〃) HbA1c ≥ 6.5%、(〃) 随時血糖 ≥ 126mg/dL



(4) 肝機能

- 「肝機能」について健診判定区分別に該当者⁵の割合をみると、「基準範囲内」：68.1%、「保健指導判定値」：20.7%、「受診勧奨判定値」：11.2%となっており、31.9%が保健指導判定値以上の該当者となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると (p.14)、「基準範囲内」は被保険者が 65.5%、被扶養者が 84.6%となっており、被保険者のほうが「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」の割合が高く、どの年齢階層においても約 3~4 割が保健指導判定値以上となっている。

図14 「肝機能」判定値区分別該当者割合
【合計】



	肝機能	人数/割合
基準範囲内	AST < 31U/L かつ ALT < 31U/L かつ γ -GT < 51U/L	2,441,806 人 68.1%
	AST \geq 31U/L または ALT \geq 31U/L または γ -GT \geq 51U/L	742,820 人 20.7%
受診勧奨判定値	AST \geq 51U/L または ALT \geq 51U/L または γ -GT \geq 101U/L	399,725 人 11.2%

⁵ 該当者は、未測定者 3,718 人を除く計 358 万 4,351 人である。

図15 「肝機能」判定値区分別該当者割合

【被保険者】

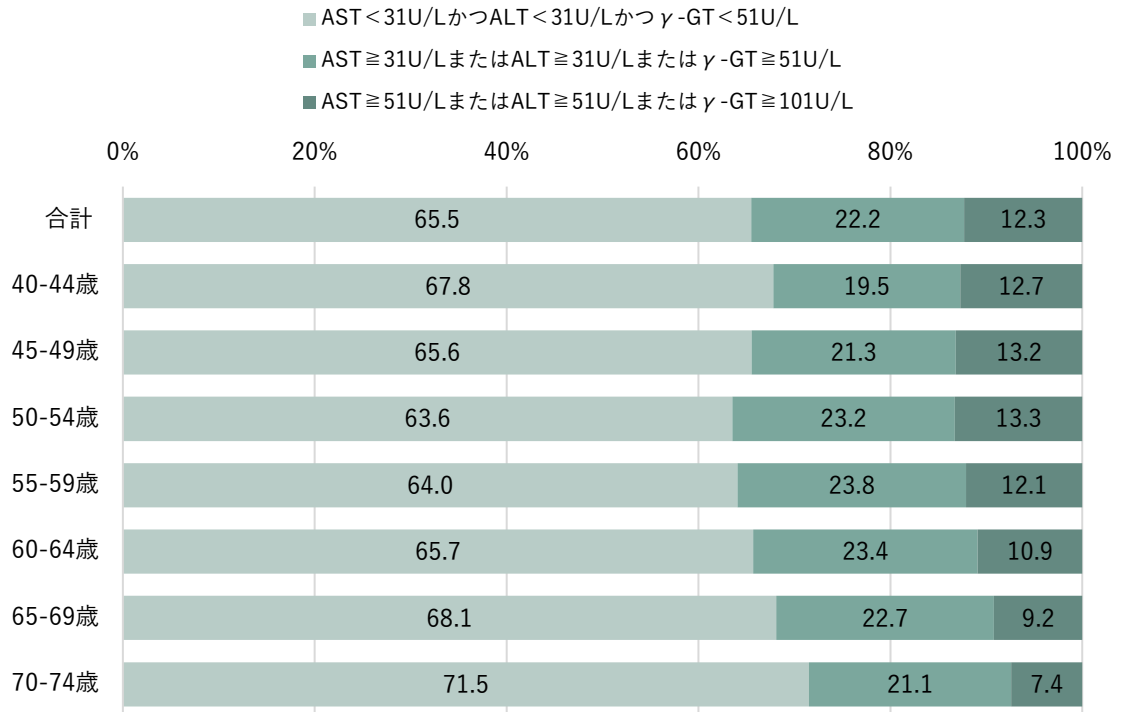
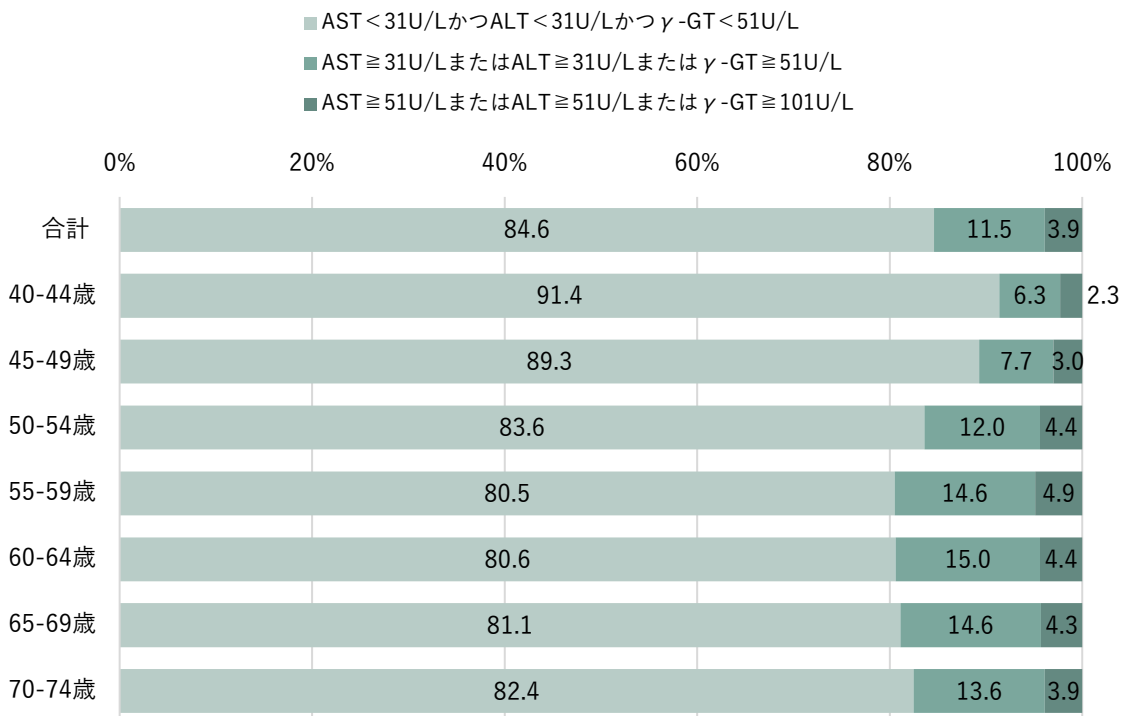


図16 「肝機能」判定値区分別該当者割合

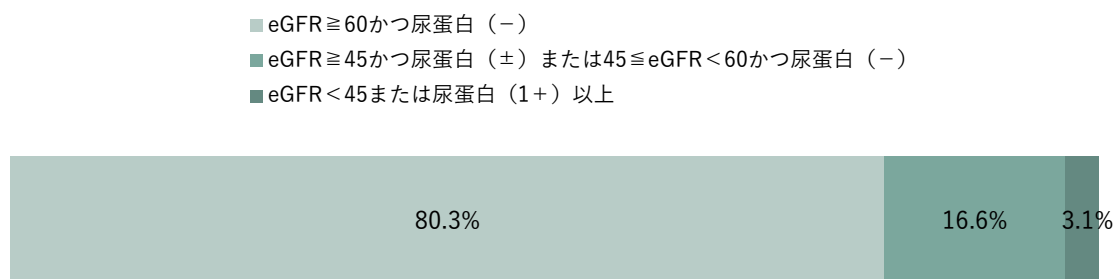
【被扶養者】



(5) 腎機能

- 「腎機能」について健診判定区分別に該当者⁶の割合をみると、「基準範囲内」：80.3%、「保健指導判定値」：16.6%、「受診勧奨判定値」：3.1%となっており、19.7%が保健指導判定値以上の該当者となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると（p.16）、「基準範囲内」は被保険者が79.7%、被扶養者が83.9%となっており、被保険者のほうが「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」の割合が高い。また、両者とも年齢階層が上がるにつれて「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」の割合が高くなる傾向にある。

図17 「腎機能」判定値区分別該当者割合
【合計】



	腎機能	人数/割合
基準範囲内	eGFR ≥ 60 かつ 尿蛋白 (-)	2,126,502 人
		80.3%
保健指導判定値	eGFR ≥ 45 かつ 尿蛋白 (±) かつ または 45 ≤ eGFR < 60 かつ 尿蛋白 (-)	439,181 人
		16.6%
受診勧奨判定値	eGFR < 45 または 尿蛋白 (1+) 以上	83,102 人
		3.1%

【参考】健診判定と対応の分類 ■ 基準範囲内 ■ 保健指導判定値 ■ 受診勧奨判定値

GFR 区分 (mL/分/1.73 m ²)	G1	G2	G3a	G3b	G4	G5
		≥ 90	60-89	45-59	30-44	15-29
尿蛋白 (-)	281,806 人	1,844,696 人	263,434 人	12,701 人	899 人	183 人
尿蛋白 (±)	19,282 人	133,454 人	23,011 人	2,047 人	316 人	92 人
尿蛋白 (1+) 以上	6,695 人	40,083 人	12,794 人	4,008 人	1,625 人	1,648 人

⁶ 該当者は、未測定者 93 万 9,284 人を除く計 264 万 8,785 人である。

図18 「腎機能」判定値区分別該当者割合

【被保険者】

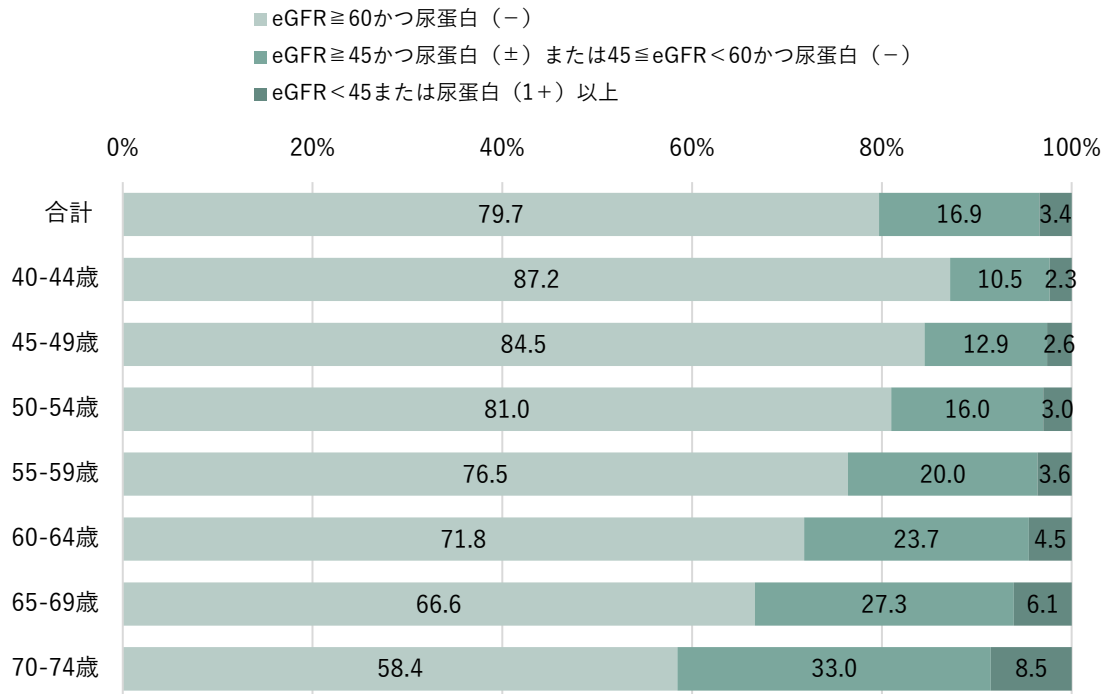
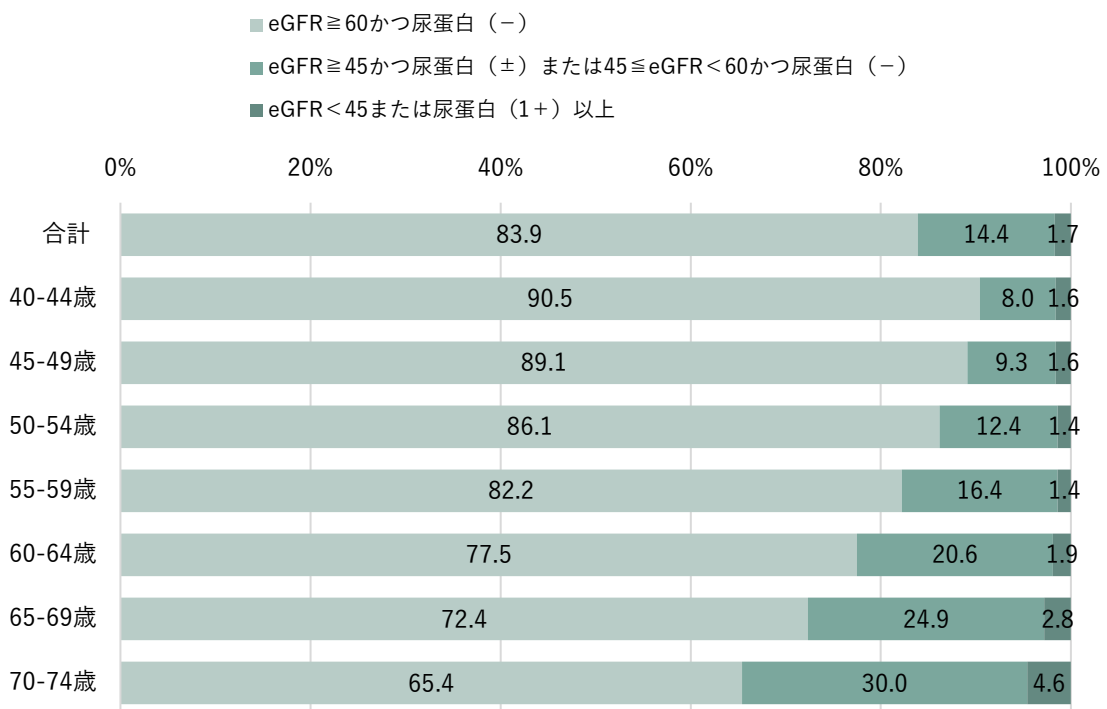


図19 「腎機能」判定値区分別該当者割合

【被扶養者】



3. 腹囲判定別にみた健診検査値リスク保有者⁷の構成割合⁸

- 腹囲判定別に、保健指導対象者の選定・階層化に必要な健診検査項目について、保健指導判定値以上のリスク保有者の割合をみると、「非肥満」では46.4%、「肥満」では78.8%となっており、「肥満」のほうがリスク保有者の割合が高くなっている。

図20 「非肥満」該当者のリスク保有者構成割合

【合計】

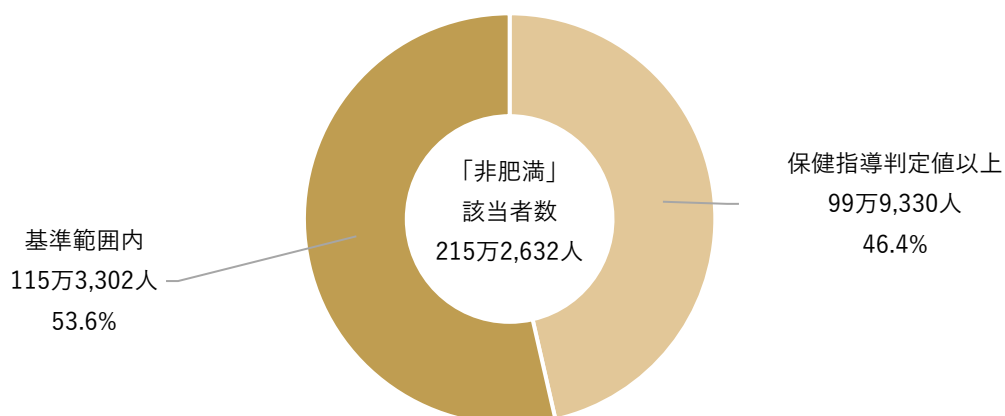
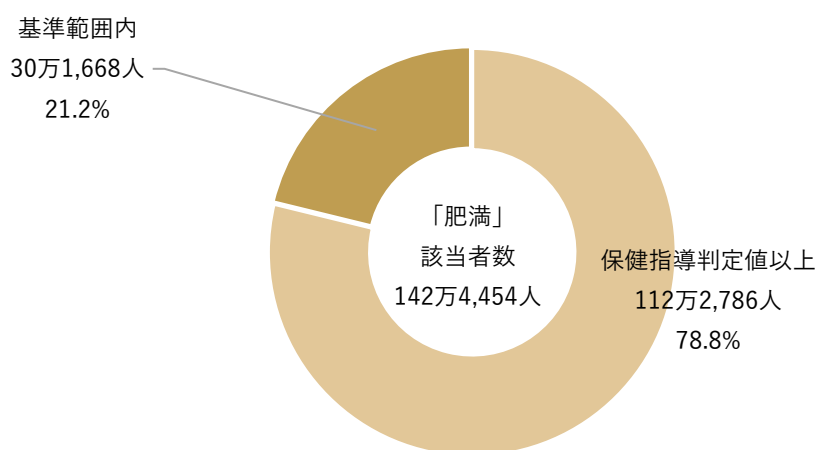


図21 「肥満」該当者のリスク保有者構成割合

【合計】



⁷ 本調査におけるリスク保有者とは、保健指導対象者の選定・階層化に必要な健診検査項目—①血圧（収縮期・拡張期）、②脂質（中性脂肪・HDL コレステロール）、③血糖（空腹時血糖・HbA1c）—のうち、いずれか1つ、あるいは複数の項目について、保健指導判定値以上（受診勧奨判定値以上を含む）に該当する者を指している（以下、同じ）。

⁸ 健診検査項目判定不能の者（「非肥満」：4,278人、「肥満」：2,534人）を除いているため、p.5の値とは異なる。

4. 腹囲判定別にみた健診検査項目リスク数構成割合⁹

(1) 合計

- 腹囲判定別に、保健指導対象者の選定・階層化に必要な健診検査項目について、保健指導判定値以上のリスク保有者のリスク数の構成割合をみると、「非肥満」では、「リスクなし」：53.6%、「リスク1つ」：32.5%となっており、複数のリスク保有については、「リスク2つ」：12.0%、「リスク3つ」：1.9%となっている。
- 一方、「肥満」では、「リスクなし」が21.2%、「リスク1つ」が37.1%となっており、複数のリスク保有については、「リスク2つ」：30.8%、「リスク3つ」：10.8%となっている。

図22 健診検査値リスク数構成割合

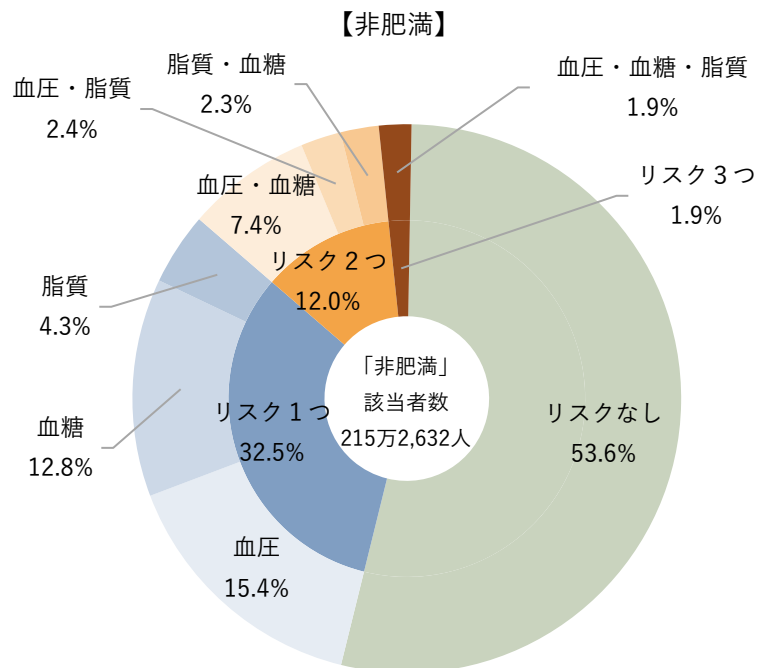
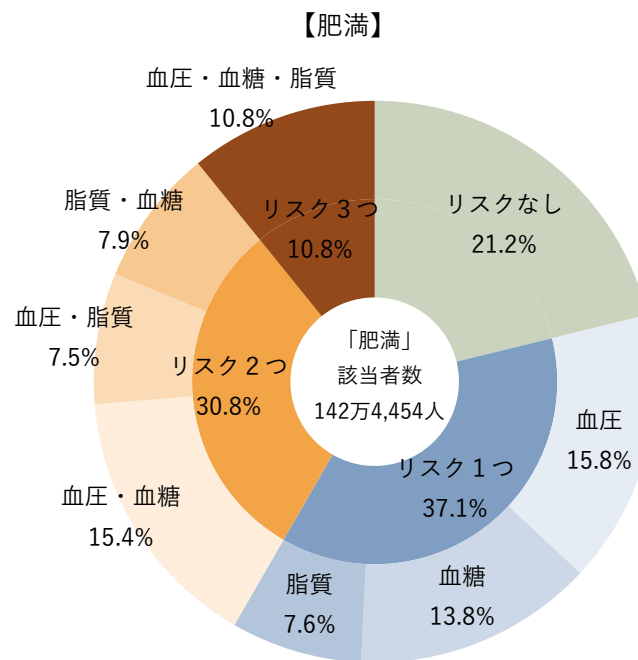


図23 健診検査値リスク数構成割合



⁹ 健診検査項目判定不能の者（「非肥満」：4,278人、「肥満」：2,534人）を除いているため、p.5の値とは異なる。

(2) 被保険者

- 「非肥満」では、「リスクなし」：51.4%、「リスク1つ」が33.5%となっており、複数のリスク保有については、「リスク2つ」：13.0%、「リスク3つ」：2.1%となっている。
- 一方、「肥満」では、「リスクなし」が20.6%、「リスク1つ」が37.0%となっており、複数のリスク保有については、「リスク2つ」：31.3%、「リスク3つ」：11.1%となっている。

図24 健診検査値リスク数構成割合

【非肥満】

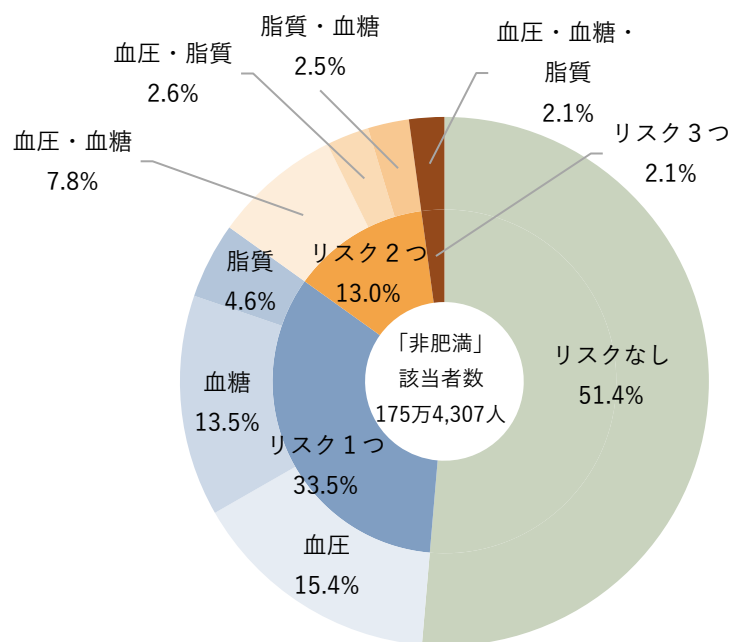
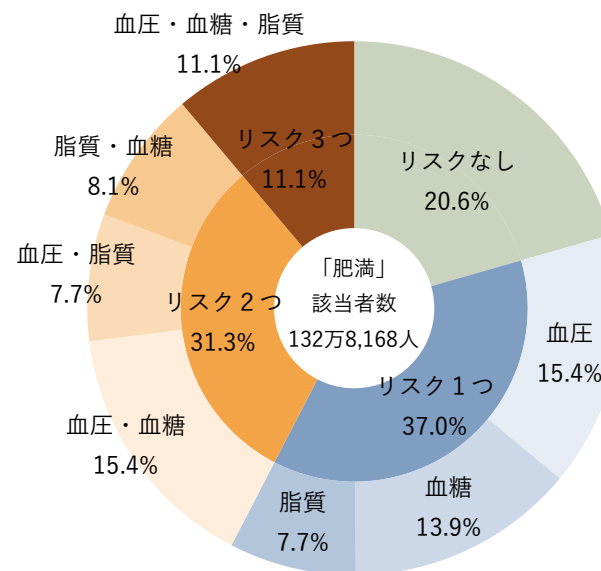


図25 健診検査値リスク数構成割合

【肥満】



(3) 被扶養者

- 「非肥満」では、「リスクなし」が 63.4%、「リスク 1 つ」が 27.9%となっており、複数のリスク保有については、「リスク 2 つ」: 7.9%、「リスク 3 つ」: 0.9%となっている。
- 一方、「肥満」では、「リスクなし」が 29.6%、「リスク 1 つ」が 38.7%となっており、複数のリスク保有については、「リスク 2 つ」: 25.1%、「リスク 3 つ」: 6.6%となっている。

図26 健診検査値リスク数構成割合

【非肥満】

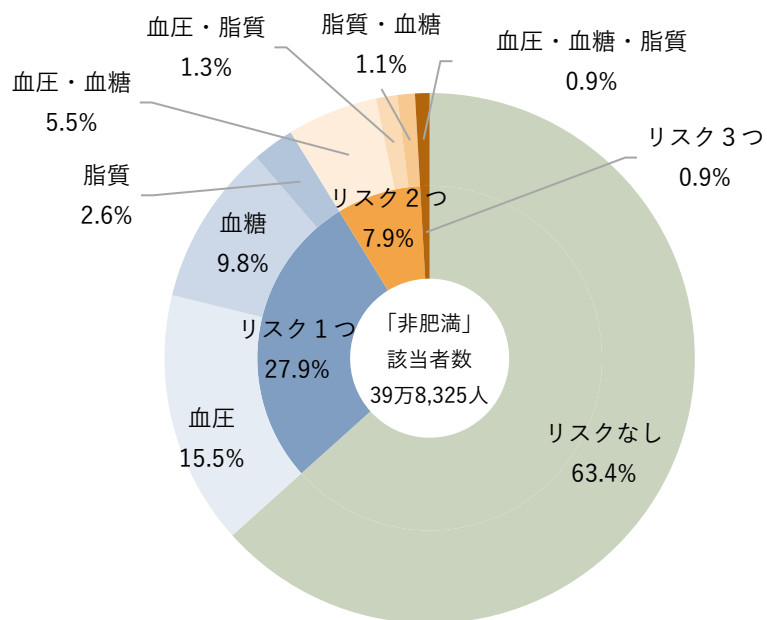
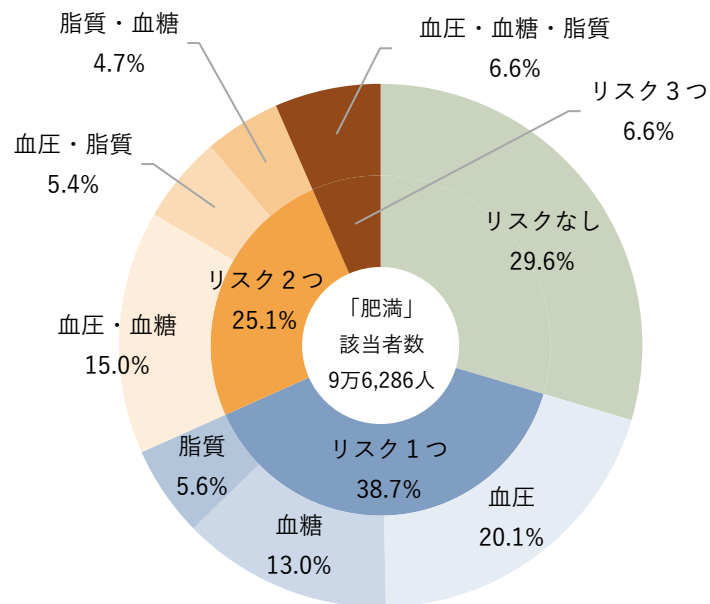


図27 健診検査値リスク数構成割合

【肥満】



5. 腹囲判定別にみた検査項目別「保健指導判定値以上」該当者のリスク保有構成割合
 (1) 血圧

- 「血圧」が保健指導判定値以上のリスク保有者 128 万 7,989 人について、腹囲判定別にリスク保有構成割合をみると、非肥満では「血圧のみ」が 56.8%で、「血圧のみ」以外のリスクでは、「血圧・血糖」：27.3%が最も高く、次いで「血圧・脂質」：8.8%、「血圧・脂質・血糖」：7.1%となっている。
- 一方、肥満では、「血圧のみ」が 31.8%で、「血圧のみ」以外のリスクでは、「血圧・血糖」：31.1%が最も高く、次いで「血圧・脂質・血糖」：21.9%、「血圧・脂質」：15.2%となっている。

図28 腹囲判定別「血圧」リスク該当者のリスク保有構成割合
 【合計】

該当者数：128万7,989人

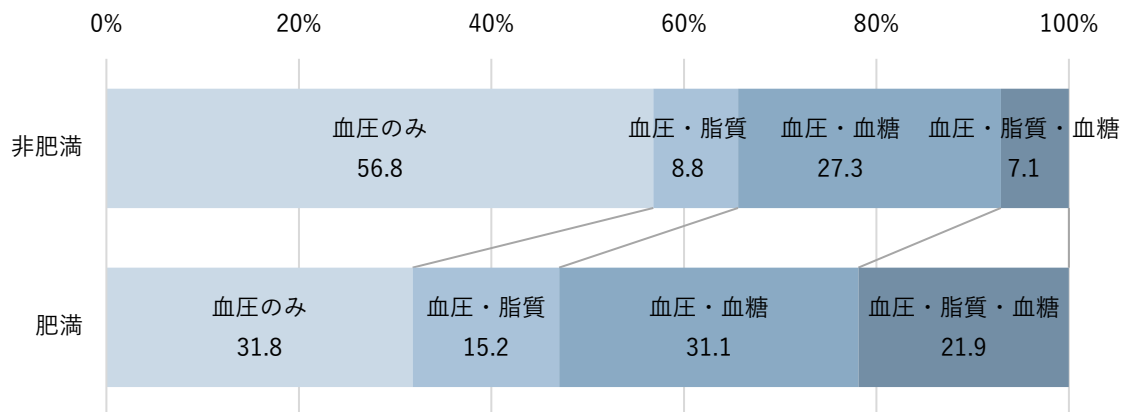


図29 腹囲判定別「血压」リスク該当者のリスク保有構成割合

【被保険者】

該当者数：115万386人

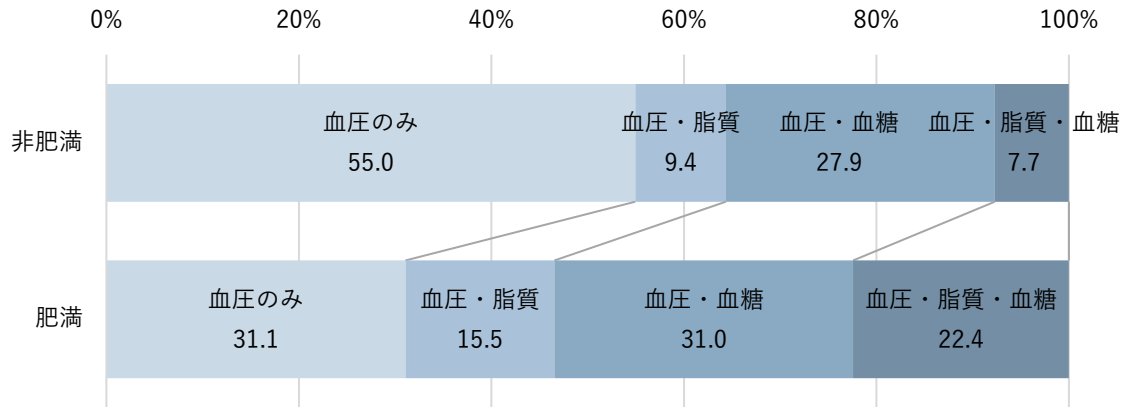
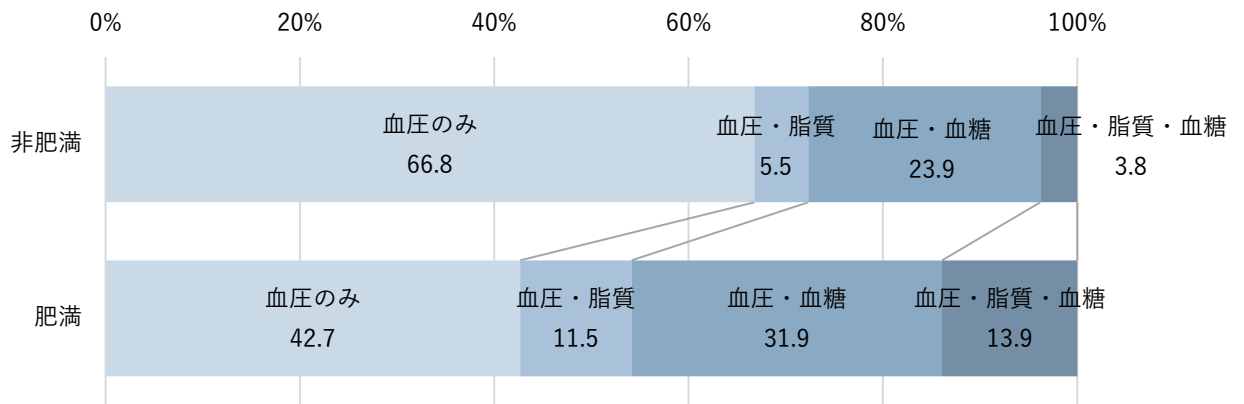


図30 腹囲判定別「血压」リスク該当者のリスク保有構成割合

【被扶養者】

該当者数：13万7,603人



(2) 脂質

- 「脂質」が保健指導判定値以上のリスク保有者 71 万 4,542 人について、腹囲判定別にリスク保有構成割合をみると、非肥満では「脂質のみ」が 39.4%で、「脂質のみ」以外のリスクでは、「脂質・血圧」：22.0%が最も高く、次いで「脂質・血糖」：20.8%、「脂質・血圧・血糖」：17.7%となっている。
- 一方、肥満では、「脂質のみ」が 22.3%で、「脂質のみ」以外のリスクでは、「脂質・血圧・血糖」：32.0%が最も高く、次いで「脂質・血糖」：23.4%、「脂質・血圧」：22.3%となっている。

図31 腹囲判定別「脂質」リスク該当者のリスク保有構成割合
【合計】

該当者数：71万4,542人

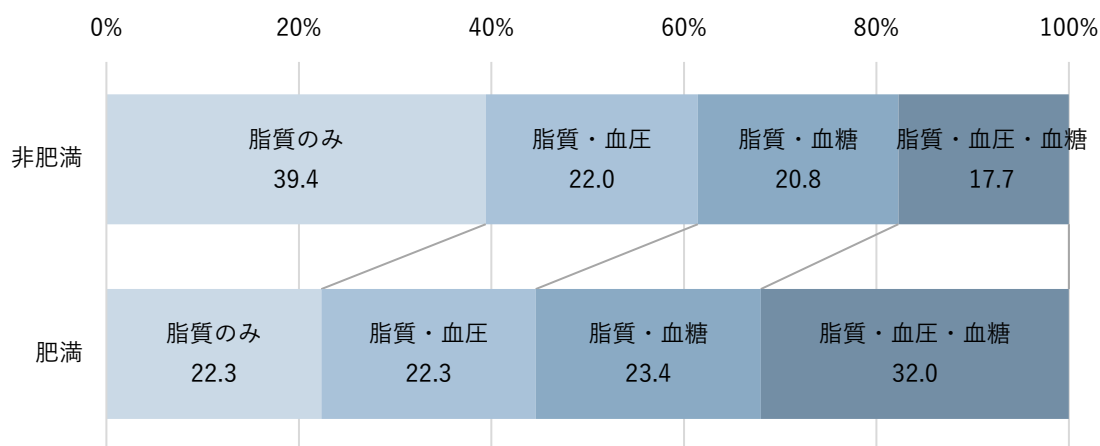


図32 腹囲判定別「脂質」リスク該当者のリスク保有構成割合

【被保険者】

該当者数：67万5人

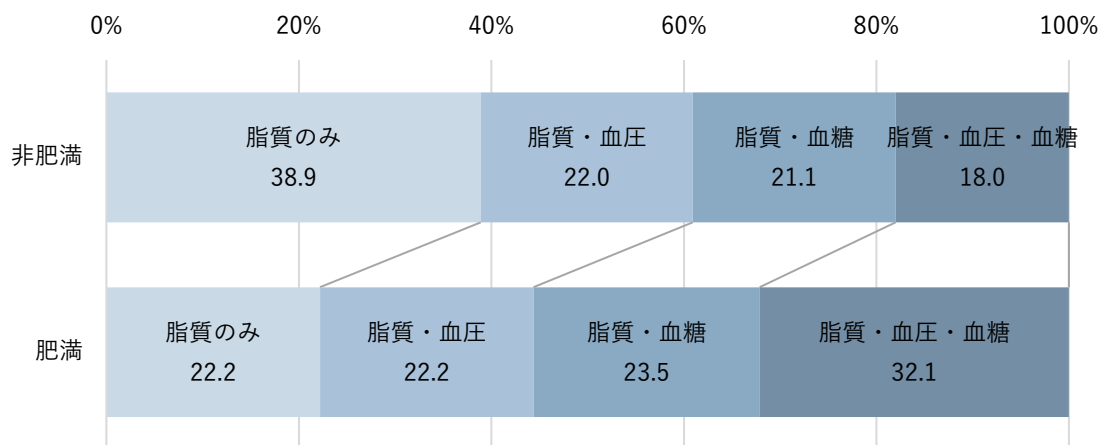
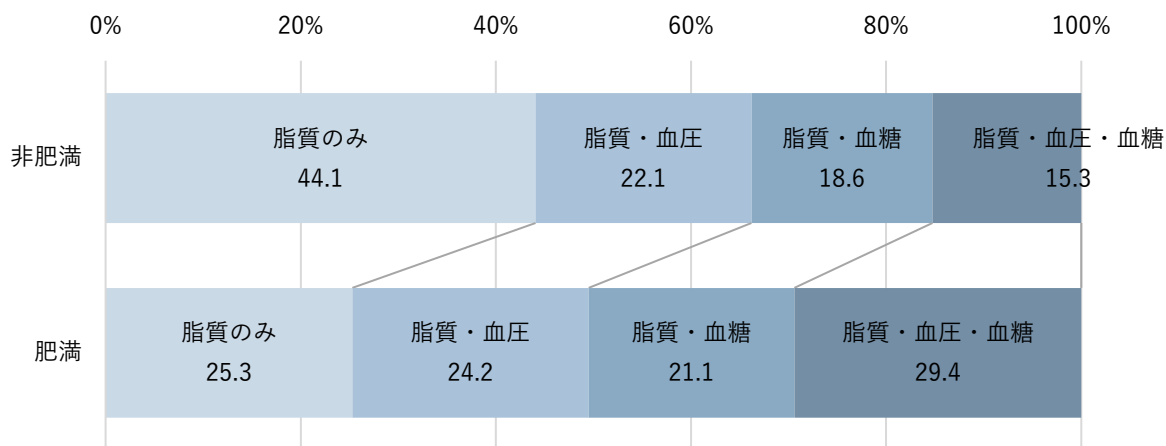


図33 腹囲判定別「脂質」リスク該当者のリスク保有構成割合

【被扶養者】

該当者数：4万4,537人



(3) 血糖

- 「血糖」が保健指導判定値以上のリスク保有者 120万8,674人について、腹囲判定別にリスク保有構成割合をみると、非肥満では「血糖のみ」が52.6%で、「血糖のみ」以外のリスクでは、「血糖・血圧」：30.3%が最も高く、次いで「血糖・脂質」：9.2%、「血糖・血圧・脂質」：7.8%となっている。
- 一方、肥満では、「血糖のみ」が28.8%で、「血糖のみ」以外のリスクでは、「血糖・血圧」：32.1%が最も高く、次いで「血糖・血圧・脂質」：22.6%、「血糖・脂質」：16.5%となっている。

図34 腹囲判定別「血糖」リスク該当者のリスク保有構成割合
【合計】

該当者数：120万8,674人

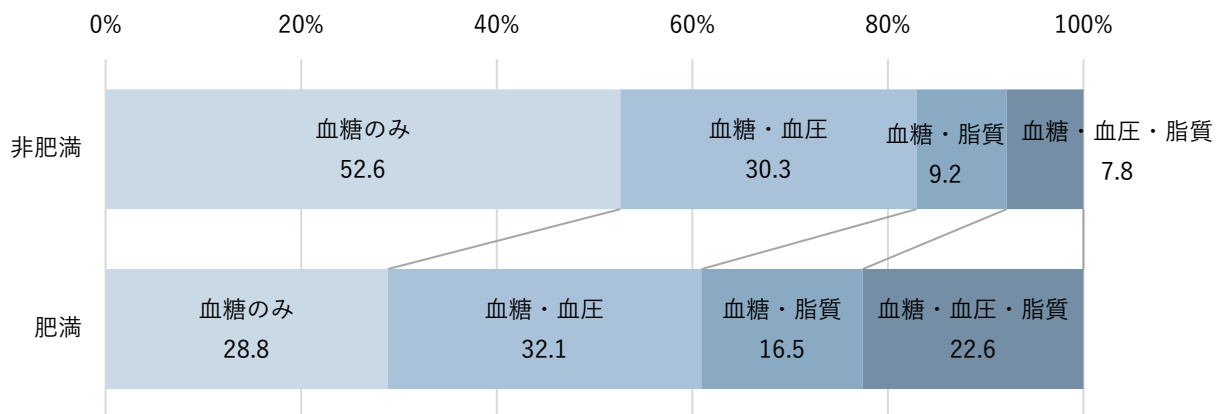


図35 腹囲判定別「血糖」リスク該当者のリスク保有構成割合

【被保険者】

該当者数：110万1,783人

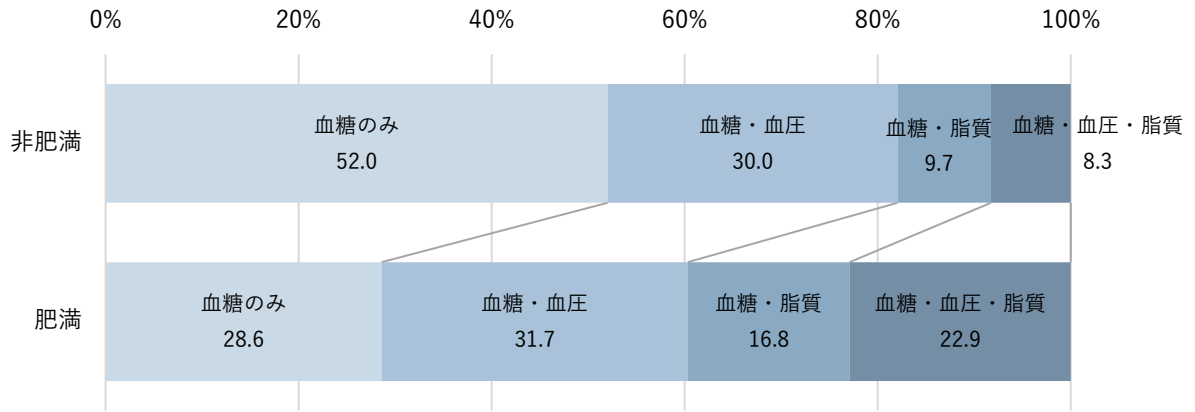
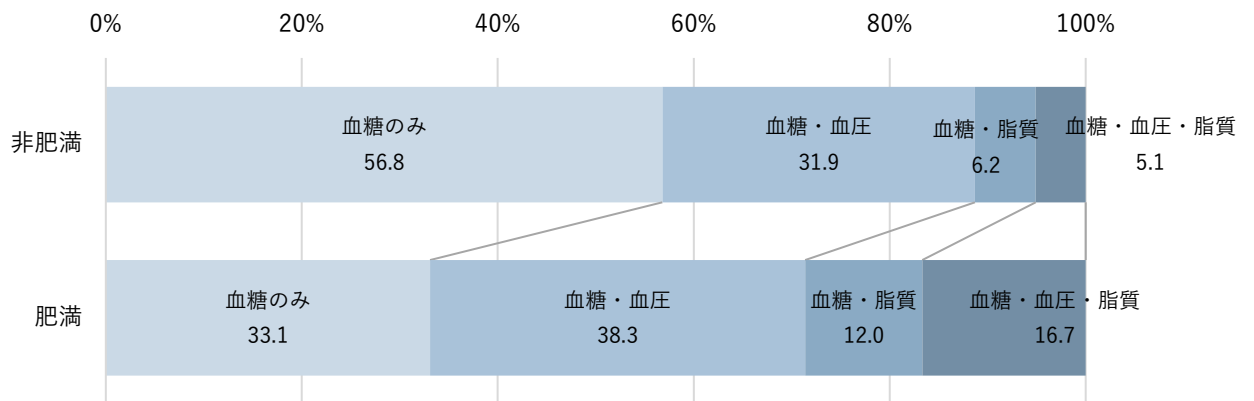


図36 腹囲判定別「血糖」リスク該当者のリスク保有構成割合

【被扶養者】

該当者数：10万6,891人

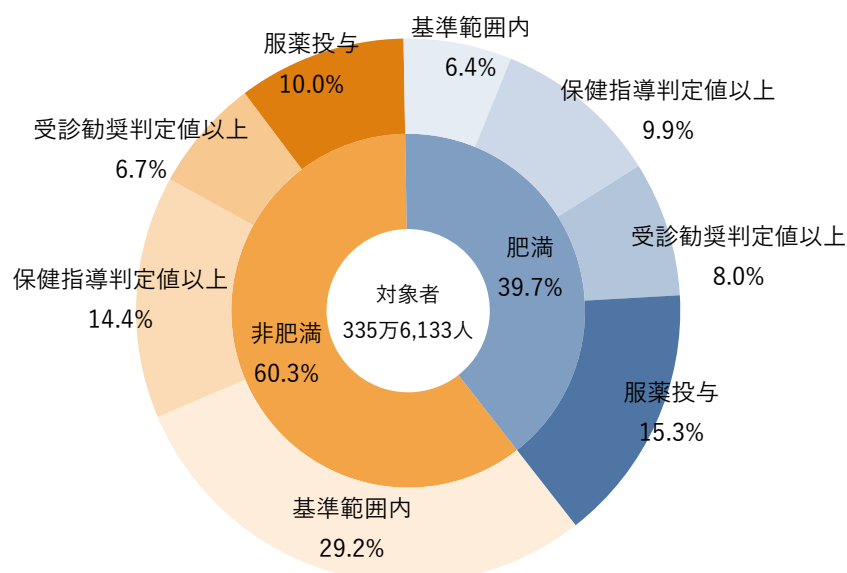


6. 保健指導対象者の選定・階層化に基づく健診レベル判定分布¹⁰

- 特定健診受診者について、保健指導対象者の選定・階層化に基づく「健診レベル判定分布状況」をみると、「非肥満」該当者では、「基準範囲内」：29.2%、「保健指導基準値上」：14.4%、「受診勧奨基準値以上」：6.7%、「服薬投与」：10.0%となっている。
- 一方、「肥満」該当者では、「基準範囲内」：6.4%、「保健指導判定値以上」：9.9%、「受診勧奨判定値以上」：8.0%、「服薬投与」：15.3%となっている。
- また、特定健診受診者のうち、医療機関への受診勧奨が必要な「受診勧奨判定値以上」の者は、非肥満・肥満該当者を合わせ、全体の14.7%となっている。

図37 健診レベル判定分布状況

【合計】



¹⁰ 健診レベル判定分布は、保健指導対象者の選定に必要となる健診検査項目（「腹囲」・「血圧」・「脂質」・「血糖」）の判定基準に基づいて保健指導対象者を階層化し、各該当者の割合を示したものである。なお対象者は「血圧」・「脂質」・「血糖」の未測定者23万1,936人を除く335万6,133人である。

図38 健診レベル判定分布状況

【被保険者】

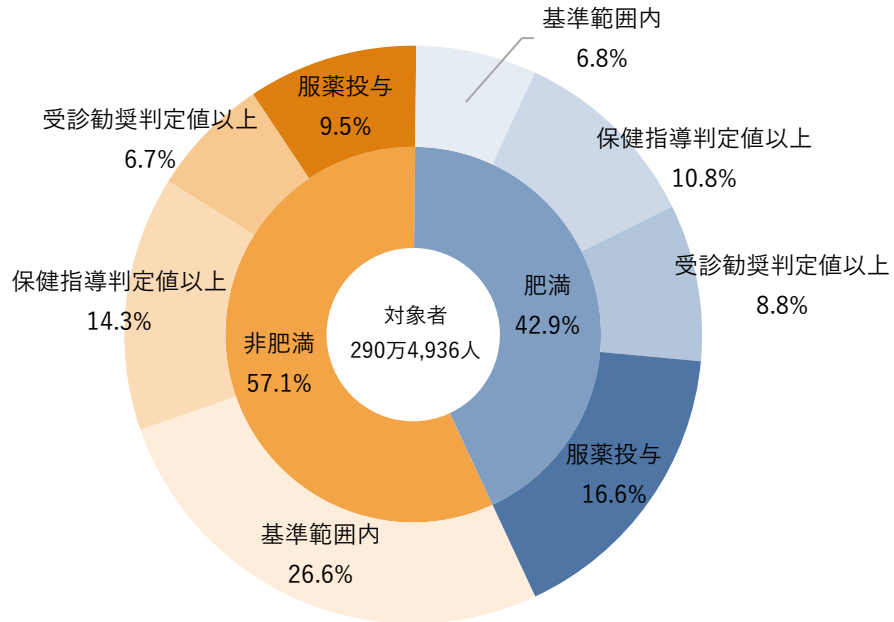
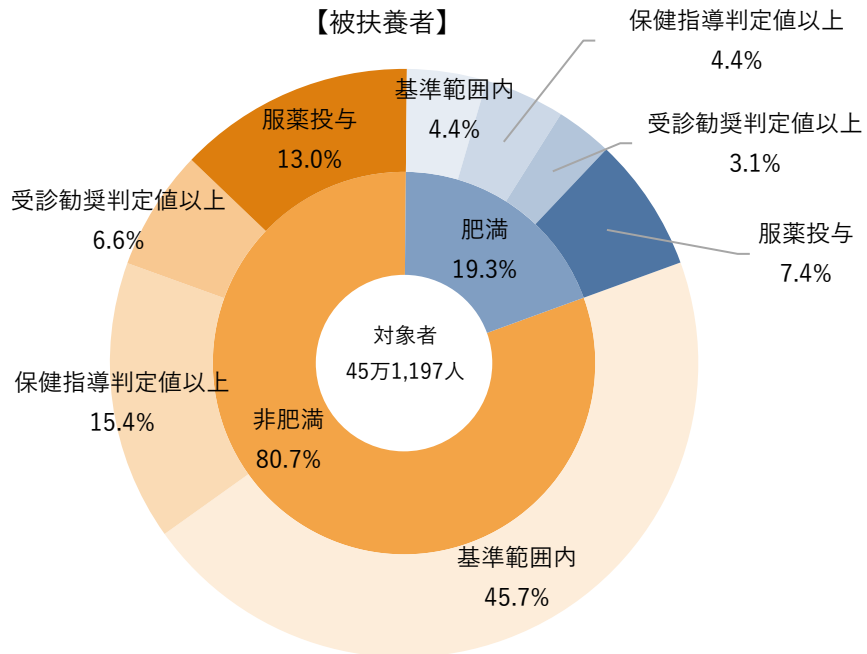


図39 健診レベル判定分布状況

【被扶養者】

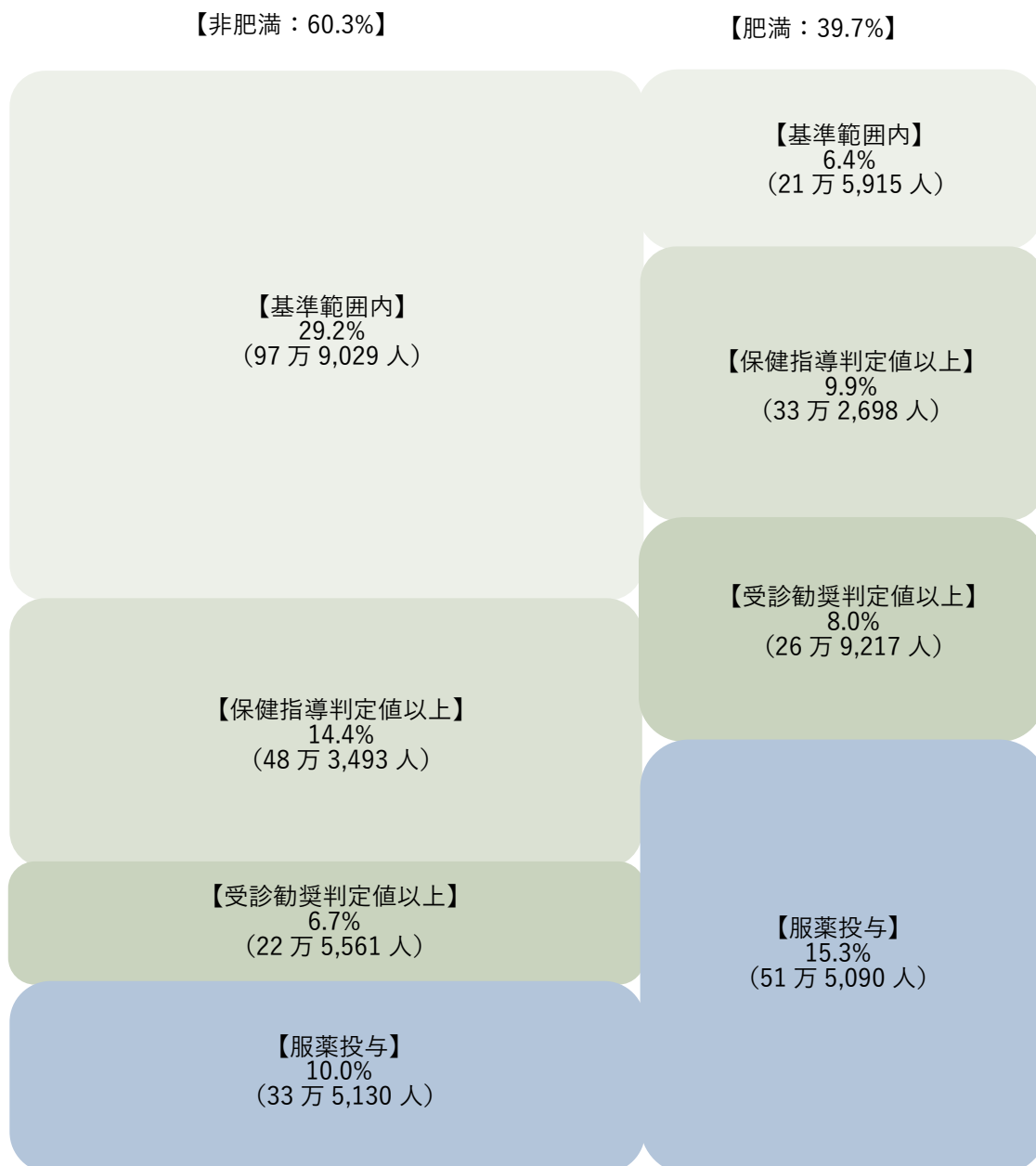


【参考資料】

健康分布図¹¹からみた加入者の健康状態

【合計】

対象者：335万6,133人（100%）



¹¹「健康分布図」は、P.27で示した図37の各該当者の割合を面積で表したものである。P.30では、男女別に各該当者の割合を示している。なお、対象者は「血压」・「脂質」・「血糖」の未測定者23万1,936人を除く335万6,133人である。

【男性】

対象者：202万8,185人（100%）



【女性】

対象者：132万7,948人（100%）

